



今尾の子



令和4年度 えのき通信
海津市立今尾小学校だより
令和4年6月1日

「ふんわり」をこれからも



本年度のスポーツフェスタが、五月二十五日（水）に、保護者や地域の皆様のおかげで、実施することができました。コロナ禍、天候、熱中症などが心配される中、無事終了することができました。ありがとうございました。

四月三十日の結団式からスポーツフェスタ前日まで、練習に取り組んできた成果が発揮できました。取組の過程では、仲間と共に声をかけ合いながら全力で練習し、時間を意識した行動やハイの返事など、日常生活も大切にしてきました。また、限られた練習時間でも、いつも本番のつもりで真剣に取り組み、お互いに声を掛け合い、振り返りの会までやり抜いてきた積み重ねができていました。特に、運営委員、団リーダー、スマイルリーダーがリードし、高学年が自ら良い手本を姿で示してくれていました。本年度は総練習なしでも行えたことは、何よりも心一つにした証です。

だからこそ、スポーツフェスタ当日には、多くの素晴らしい姿が見られました。一部ですが紹介します。

○競技種目の多人多脚を昼休みにも、進んで練習していた六年生

○五・六年生による、誰に言われることなく、任された役割を自分から進んで行い、やりぬくことができた係の仕事

○応援リーダーの合図で、一人一人が精一

杯手拍子をし、リズムにあった振り付けを合わせることでできた応援

○最後まで、団席や競技の場から仲間を励ましたり、他学年の競技でも、団席で精一杯応援したりする姿

○どの種目も全員が、もてる力を出しきって、あきらめずにゴールした競技

○スマイル班での8の字縄跳びで、自分できそうなことにチャレンジした姿

○競技終了後に贈る温かい拍手と退場後の終了の挨拶をするまでが競技であるという意識と行動

○競技終了後に「○○を終わります。」だけでなく、団席に向かって「ありがとうございました。」とお礼をする四年生

○リレーの後に、同じグループの子に声をかけ、丁寧になんでピブスを片付ける五・六年生

○割り当てられた学年の団席に、整然と整列して座る姿

○閉会式等で、人の話を聞いたり、状況を考えることができたりするように、高学年が優しく手助けする姿

など、多くの感動をつくりだすことができました。「明日からの学校生活に生かしていきますしよう。」などの解団式での応援リーダーの言葉、閉会式での児童代表の話が印象的でした。スポーツフェスタへの取組で得た宝物は、これからの日常生活に必ず生きると確信しました。

保護者の皆様には、体調管理や参観の仕

方などご協力いただき、トラブルもなく終了することができました。広報委員の方には、写真撮影などをして支えていただきました。ありがとうございました。

今後も様々な行事等がありますが、行事等よりも大切にしなければならぬのは、毎日の基本的な生活や授業です。○○だけをやればいいのではなく、全てのことに「進んでやりぬく」をいつも心において、スポーツフェスタのスローガンのように、今後「心一つに」を大切にします。スポーツフェスタまでに培ってきた心と行動を次につなげていきます。

今まで以上に、今後も家族や地域の方々には、毎日見守り、かわり、見届けていただくことをよろしく願います。

感染予防・拡大対策の徹底を

コロナ感染がまだまだ終息しない状況で、これまで行ってきた**基本的な感染予防対策**（正しいマスクの着用・正しい手洗い・3密の回避等）を今後もより一層の徹底を家族ぐるみで願います。

また、**感染拡大させない**ために、本人はもちろんですが、同居のご家族で体調等が普段と少しでも異なる場合には、登校や出勤・外出を自粛し、自宅で休養してください。これも、外からウイルスを学校内に持ち込まないようにするための大切な一つの対策です。

何卒今の状況をご理解いただき、ご協力を今後も願います。（日比 修二）